

令和6年度しまね社会貢献基金クラウドファンディング事業報告シート

団体名	特定非営利活動法人 フードバンクしまねあったか元気便
事業名	松江市内の「就学援助世帯」を対象にしたフードバンク事業
事業費(うち支援額)	1,282,000 円

**■事業目的（250文字以内）**

経済的な困窮をかかえる松江市内の小・中学校に通う「就学援助世帯」の子どもたちと家族に夏休みなど給食のない長期休暇期間の年4回を基本に食品を提供し「安心」と「元気」を届け、「孤立」を防ぎ「自立」を応援することを目指しています。

また、取り組みを通じて「困ったときは、おたがいさまのまちづくり」、「地域の子どもたちは地域のみんなで育てるまちづくり」を目指しています。

■事業内容（350文字以内）

長期化する物価高騰とお米の高騰、「品薄」状況のなかで、「就学援助世帯」の「食卓応援」は、これまでにない切実な課題になっています。一方、こうした状況の中でフードドライブで寄せられる食品もこれまでにない集約状況が厳しく必要な食品（レトルト食品、インスタント食品等）やお米の購入が余儀なくされました。

こうしたなかで、お陰様で24年度は、「食卓応援事業」は、のべ2,231余世帯、のべ8041人家族に、年間約27,6トンの食品を提供することができました。

■事業成果と今後の展望（450文字以内）

利用世帯のおかあさんから寄せられた声では、「学校を通じてフードバンクさんを初めて知りました。色々な物が高くなり過ぎて……。子どもに栄養は気をつけたいが食費は抑えなければ生活できない……。日々悩んでいます。そんなときにフードバンクさんを知り、とてもありがたく感じました。」、「子どもと2人暮らしなのですが、物価高騰の影響もあり、自分の食事量を減らして、その分子どもに食べさせたり、安いものしか買えないので、もっと好きな物をたくさん食べさせてあげたいという思いがありました。そんなときに学校から、あったか元気便という支援があることを教えていただき、とてもありがたく良い機会だと思いました。」などの声が寄せられています。長期に及ぶ物価の高騰のなかで「くらしと子育て」をめぐる厳しい状況がすすんでいます。また、こうしたなかでも、取り組みを支えるフードドライブ（食品の寄付）に参加する団体・企業数も100超となり、ボランティアさんものべ1,828人に広がりました。

今後は「支える輪」をさらに広げ、当面、県内の就学援助児童・生徒数の約3割を占める松江市内で、すべての小中学校での取り組みをめざしています。さらには、松江市以外の「就学援助世帯」の小中学の児童、生徒に対象を広げることをめざしています。